

（件名）中国からの訪日客の動向について

1. 中国からの訪日客の状況

- 日本政府観光局（JNTO）が公表している訪日外客数（※）によると、2025年1月～8月の中国からの外客数は約671万人で前年同期比46.1%増と大幅な増加で推移しています。
 - 増加の要因としては、地方路線の新規就航や運航再開、クルーズ船の寄港などが挙げられており、8月単月では中国からの訪日外客数としては過去最高の記録となりました。
- （※）外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のこと

2. 日本への旅行に関するヒアリング結果

- 中国からの訪日客が増加する中、その訪問先や消費動向にはどのようなトレンドが見られるのか、上海市内に拠点を持つ旅行会社や航空会社へヒアリングを実施した結果、次の回答がありました。

■訪問先

- 東京、大阪、名古屋は安定した人気がある。東京、大阪は、レジャー、グルメ、買い物などあらゆるニーズに対応でき、初めて日本を訪れる人を中心に広く人気。名古屋は航空便が比較的安価なため、経由地として選ばれている。
- 地方路線では、日本を複数回訪れているリピーターを中心として、札幌、福岡、沖縄、神戸、広島などへの訪問者が多くみられる。
- 年代によっても訪問先に違いが見られる。若年層はコスパ重視で短い日数で効率よく楽しめる東京、大阪を選択するケースが多く、シニア世代は大都市圏よりも地方をゆったりと回るツアーを好む傾向がある。



東京・札幌行きツアーチラシ

■目的、消費動向

- 定番の観光スポット（テーマパーク、寺社仏閣、富士山等）の人気も健在。
- 一方で、例えば、地元の人が通う温泉や飲食店、会員制のリゾート施設など、より「特別感」を味わえる場所・体験へのニーズが増加。
- この他、健康志向の高まりを背景に、トレッキング・ハイキングを目的として来日する人も増えており、熊野古道などへのツアーが人気。また、漫画・アニメや映画のゆかりの地への希望も多く、名探偵コナンゆかりの鳥取県は安定した人気がある。
- 買い物の傾向にも変化があり、「日本でしか手に入らない商品」や「日本製」へのニーズが増加している。例えば、衣服の分野では以前は日本のブランドであれば、日本製ではない商品でも売っていたが、今は日本製かどうかが重視されるようになった。
- こうした日本の観光スポットや買い物の情報収集はSNSが主流となっており、口コミや評価が訪問先の選択に大きく影響する。旅行商品のPRもSNSを通じたライブコマースなどで行われている。

■形態

- 大きな傾向としては大人数の旅行から小規模の家族・個人単位での旅行にシフトしているが、主にシニア層向けとしては団体旅行のニーズも底堅い。日数としては5泊前後のプランが多い。

■課題

- 二次交通の充実が必要。特に北海道は都市間の距離が離れており、交通機関の快適さやスムーズな乗り継ぎがポイントとなる。北海道への訪問者は比較的年齢層が高いため、複数の交通機関を乗り継ぐにはハードルが高く、空港からバス一本で観光地を巡ることができるプランに人気が集まる。
- また、宿泊施設の確保も課題。冬の繁忙期以外でもホテルを確保できないことがしばしばあり、民宿の利用にシフトしている。